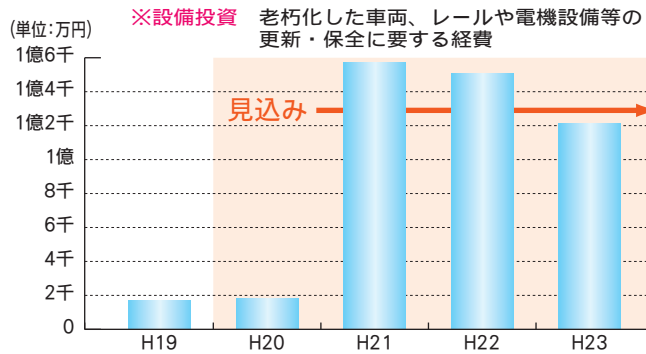
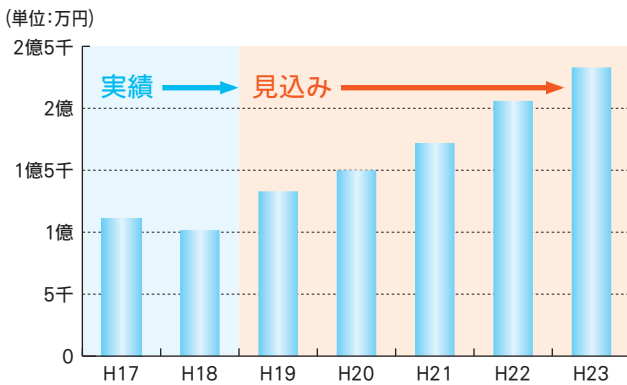


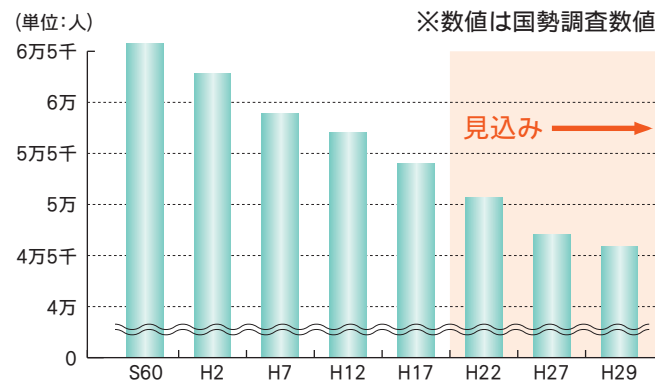
グラフ2 今後見込まれる設備投資への自治体負担見込み額(全線分)



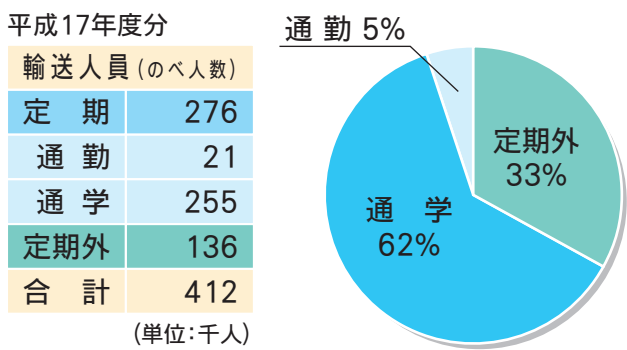
グラフ1 南線の赤字額



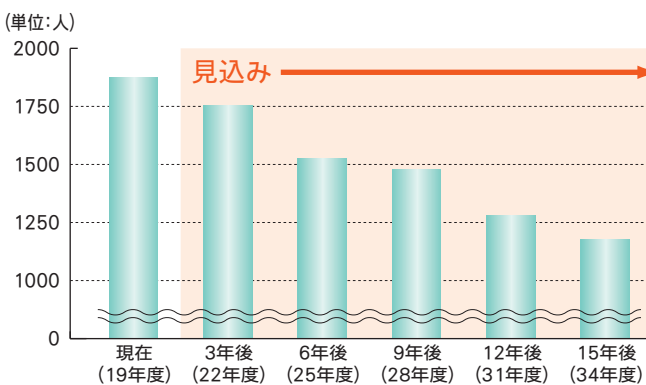
グラフ3 南島原市の人口の推移(国勢調査)



グラフ4 南線輸送人員の推移(島原外港～加津佐間)



グラフ5 南島原市内高校生の人口の推移



Q3 なぜ公的支援が困難なの？

グラフ1をご覧ください。島原鉄道(株)から示された南線の赤字は、平成17年度の実績で1億1千1百万円ですが、平成23年度では2億3千3百万円と倍以上に膨れ、市の負担も倍増し、その後もさらに増加が継続ものと見込まれます。

グラフ2をご覧ください。これは運行の安全確保のために今後見込まれる設備投資に対する沿線自治体の負担見込み額です。この設備投資は国庫補助で行われる予定ですが、沿線自治体も自分の負担を行わなければならない、運行費の赤字補てんと合

わせると市の負担は更に大きな額となります。

このように公的支援を実施した場合、厳しい行政改革を行い財政健全化を目指す本市にあっては、他の行政運営にも大きな影響を及ぼすと考えられます。

それでは利用者を増やして収益を上げられないのでしょうか？

グラフ3、5は本市の人口と高校生数の推移、グラフ4は平成17年度の南線輸送人員の通勤・通学・その他の比率ですが、人口は年々減少を続け、利用者全体の6割以上を占める高校生の数も当然減少します。また、平成17年度の本市の1世帯

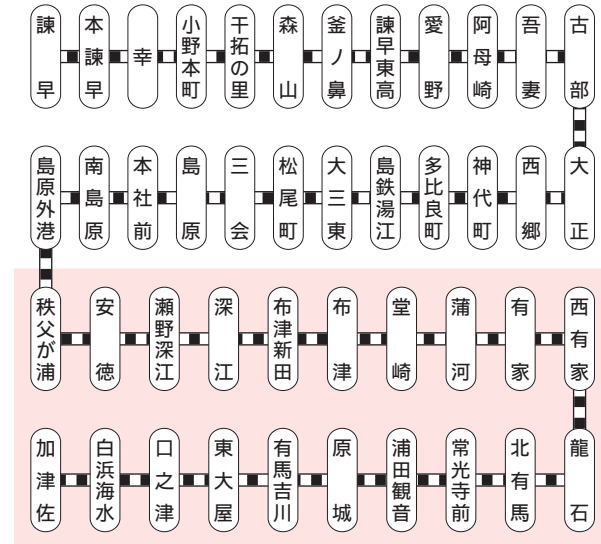
当たりの人口は3・1人、家用車保有台数は1世帯当たり2・3台です。これは、長崎県平均1・6台を大きく上回る県下トップクラスの普及率で、車を運転しないお年寄りや子どもを考慮すると、一人1台近い保有台数になると思われます。

人口は減少し、家用車は十分に普及している、このような状況の中で今後利用者を増やしていくことは非常に難しいことだと考えられ、決定的な増収策は見いだせない状況です。

以上のようなことを総合的に検討した結果、将来に渡って公的支援を続けることは困難であると考えざるを得ません。



島原鉄道路線図(全長78.5km 廃止区間35.3km)



島原鉄道南線廃止問題

～現在の状況をお知らせします～



Q1 市の対策本部ではどのような取り組みを行ってきたの？

これまで4回の会議を開催し、利用客乗降調査など必要な調査を行いながら課題や問題点、市としての方策などについて協議するほか、市内の高校など関係団体の代表者もオブザーバーとして交え、利用者皆さんの意見を聴いてきました。

3月26日には市議会と共に、存続の要望書を島原鉄道(株)に提出しましたが、3月30日には廃止届が提出されています。

また、7月20日に開催した第4回会議では、存続に向けた県や沿線4

1月31日に島原鉄道(株)から廃止発表が行われて以来、南島原市では一貫して存続に向けた取り組みを行い、島原鉄道(株)のほか、国や県、関係自治体と協議を行ってきました。

しかしながら、①毎年増加が見込まれる赤字の補てん、②安全確保のために今後見込まれる設備投資への多額の支援を、南島原市ははじめ関係自治体が将来に渡って続けていくことは困難と判断せざるを得ない状況となりました。

これからは、来年4月以降の公共交通を支障なく確保するため、鉄道に代わる代替交通の確保について検討していくこととなりますが、これまでの経過等について、皆さまの疑問やご意見にお答えいたします。

Q2 他の自治体との協議の状況は？

市の対策本部と平行して国、県、沿線4市、民間の関係団体及び島原鉄道(株)で構成する島原鉄道自治体連絡協議会路線廃止問題対策会議で協議、調整を行ってきました。

4月17日の第1回会議において、存続のための条件について「南線の赤字補てんが将来に渡ってあれば検討の余地がある。」との発言が島原鉄道(株)からあり、国、県、沿線4市の担当課長等で構成する同幹事会において、赤字補てんの方策等について協議を行いました。

その中で、南線の大部分を抱える本市としては、支援案を2度提示して協議を進めました。しかし今後赤字の大幅な増加が見込まれることや設備投資に対しても多額の支援が必要なこと、また、人口の減少や家用車の普及などにより、決定的な増収策もないことから、沿線自治体及び県による公的支援は困難と判断、路線廃止問題対策会議において了承されたところです。

市との協議状況を報告し、赤字補てんが困難な状況を説明した上でオブザーバーの皆さんから意見を伺い、公的支援の可否決定の参考とさせていただきます。

なお、これまでの会議の詳細は、市のホームページに掲載しています。